

記録
フィルム
カラー／21分

- 自主企画
- 監修・指導
石川哲也（文部省体育局学校健康教育課教科調査官）
北島智子（文部省体育局学校健康教育課専門員）
南谷幹夫（厚生省エイズサーベイランス委員）
田能村祐麒（田能村教育問題研究所所長）
大野勝生（埼玉県立熊谷高等学校教諭）
- 協力
（財）日本視聴覚教育協会
武田 敏（千葉大学教育学部教授）
新居志郎（岡山大学医学部教授）
宇野文夫（新見女子短期大学教授）

スタッフ

- 製作
村山和雄
- 脚本・演出
花崎 哲
- 撮影
村山和雄
- 照明
本橋俊男
- 選曲
山崎 宏
- アニメーション
河原三郎 岡田誠司
黒須和清
- 録音
福島音響
- 編集
吉田栄子
- ネガ編集
加納宗子
- 解説
相川 浩

文部省選定 1993年教育映画祭優秀作品賞

高校生を中心とした若い人たちを対象に、エイズ（AIDS）という病気そのものとエイズについて正しい知識を身につけ、感染を予防するエイズ教育のために制作された。エイズの問題を身近な問題としてとらえ、患者・感染者に対しても誤解や偏見のない行動がとられることをめざしている。若い人ばかりでなく、広く一般の人にも役立つ教材。

- 撮影協力
東京都立市ヶ谷商業高等学校
中央大学杉並高等学校
国立予防衛生研究所
（財）エイズ予防財団
ポプラ社
中外製薬株式会社



最近では、エイズに関しての様々な情報があふれていて、日本の若い人たちもそれぞれがいろいろなことを知っているように見える。しかし、まだエイズのことは、自分たちには縁のない、遠いところの話のように感じてはいないだろうか？ まず、エイズについて、正しい知識を持とう。ひとりひとりが正しい知識を持つことがエイズを防ぐ最良の手段であり、流行防止の近道でもある。

エイズという病気と、その原因となる HIV（ヒト免疫不全ウイルス）と感染経路等について、最新の情報をもとにした正しい知識を伝える。そして（特に性的接触による）感染を予防し、差別や偏見をなくすために、どのような意識をもって行動すべきか、日常生活では感染しないなど、高校でのエイズ予防の授業を交えながら考えていく。さらに、エイズ患者や HIV 感染者を理解し、共に生きるためには、正しい知識から行動へつなげていくことが大切で、若い人たちが、この問題に積極的に取り組んでいる様子も紹介する。